

3. 事業の実施体制

事業の実施体制
交付申請書の通り

実施した事業の内容を機器名と台数が分かるように記入。申請時から変更がある場合はどう変更になったのか明記する。

4. 実施した事業とそれによる効果

実施した事業の概要
※実施した補助事業の概要を記入する。(導入した機器の種別、台数を明確にする。)
(1)事業記入例
ばっ気ブロワ2台、放流ポンプ2台の更新。さらにばっ気ブロワは既設1台を含めた全3台に対して新規タイマー導入による運転時間の調整を行った。
(2)事業記入例
既設浄化槽(800人槽、160m ³ /日)から先進的省エネ型浄化槽(700人槽、140m ³ /日)への交換事業
事業による二酸化炭素削減効果
交付申請書の通り
二酸化炭素削減量の費用対効果
交付申請書の通り

5. その他各事項

導入した設備の保守点検計画
交付申請書の通り
事業に要した経費に係る資金計画及びその調達先
交付申請書の通り
国の補助金への他応募状況
交付申請書の通り
事業実施に必要な許認可、権利関係等
交付申請書の通り

注1 実施した事業について申請時から軽微な変更が生じた場合は、本様式において変更内容を明記するとともに変更後の計算表、機器図面等を本報告書に添付する。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。

申請時から変更がない項目については、『交付申請書の通り』としてよい。